

令和 3 年度 第 2 回 高島市図書館協議会 資料

目 次

■ 令和 3 年度 9 月議会 一般質問答弁	1
■ 蔵書点検による不明資料件数	8
■ 蔵書点検に参加していただいた協議会委員の方の感想等	9
■ 高島市立図書館の利用状況(令和 3 年度上半期)	10
■ 高島市立図書館の利用状況(過去(平成 23 年度から)との比較)	14

令和3年9月13日

早川 浩徳 議員

(質問番号1) 市民にとってよりよいこれからの図書館や公民館のあり方とは

本市には、合併以前の旧6町村に設置されていた図書館や公民館が、引き続き市民にとっての身近な施設として利用されています。本市の図書館は、平成27年度の調べでは人口5万人以上6万人未満の都市(当時)では全国1位となったほど、市民に非常に愛されるとても身近な施設となっています。また、本市の公民館も市民向けのさまざまな講座の開設や各種団体、趣味などでの人の交流の場など、市民生活に重要な役割を果たしています。

両者はいずれも社会教育の場であり、人づくりに欠かせない役割を果たしています。高島市の今後を考える上でも、人づくりはまちづくりに直結する意味からも非常に重要な施設であると考えます。

昨今、デジタル技術の進展とともに新しいデジタル時代へのシフトが急速に進みつつあります。9月1日のデジタル庁の設置など政府によるDX(デジタル・トランスフォーメーション)もその推進を後押ししています。そういったデジタル技術の進展とともに、たとえば紙の書籍に加え電子書籍が利用拡大されるなど、本を取り巻く状況も大きく変わりつつあります。今後は、新たに紙の書籍と電子書籍との両者の良さをいかにして取り入れていくか、新たなデジタル時代に合う図書館のあり方を探っていく必要があると考えます。例えば、熊本市の「くまもと森都心プラザ図書館」では、図書館コンシェルジュが利用者のニーズに合った情報や資料を提供するサービスを行ったり、ビジネスで起業したい人向けに図書館司書がお手伝いをし、中小企業診断士が常駐する「ビジネス支援センター」が併設されたりするなど、最近各地で始まっている「ビジネス図書館」としての取り組みが行われています。また、東京都日野市の日野市立図書館では、図書館のホームページをより市民により親しみが持てるものとしてさまざまな情報を掲載し、と同0時に図書館に関する情報公開を行っています。

公民館についても、従来の取り組みのみならず、より幅広い世代にとってニーズがあり、これからの時代を見据えた取り組みが必要であると考えます。例えば、民間のものですがデジタル時代を見据えた「霞が関ナレッジスクエア(KK2)」(『共に考え、共に学び、共に担う社会へ』をミッションに掲げ、若者からシニアまで多様な人々が学び交流する「リアルな場」と、インターネットに接続した情報端末(パソコン・スマホ等)でオンライン学習・オンデマンド学習ができる、いつでもどこでも誰でも学べる学習プラットフォーム(KK2 Webサイト)を提供)のようないわゆるデジタル公民館といった仕組みもあります。こういった多様な学ぶための手段の提供も将来に向けた一つの施設のあり方ではないかと考えます。また、こういったデジタル技術を活用した学びの場の活用は現在のコロナ禍の中

においても意義のあることと考えます。

両者とも社会教育の場であり、人づくりの大切な役割を果たしています。まちづくりで重要なことの一つは、それを担うひとづくりです。こうした考えを踏まえ、以下を質問します。

1. これからの図書館サービスのあり方とは
2. 図書館の高いレベルの利用者を維持する取り組みについて
3. 図書館司書資格を持つ職員の割合や推移は
4. 図書館のホームページのより良い改善計画等はあるのか
5. 電子書籍と紙の本のそれぞれに強みを活かす考えについて
6. 図書館協議会の意見の反映等はどのように行われていますか
7. 市民からも広く意見を取り入れる、図書館づくりについて
8. 学校の図書室との連携について
9. これからの公民館のあり方について
10. 幅広い世代の利用を高めていくための考えについて
11. W i - F i 整備による活用について
12. I C T 技術を取り入れた学びの場の提供の現状と今後について
13. 高島市民大学（仮）は具体的にどのようなことをしていくのか

教育総務部長答弁

（答）早川議員のご質問にお答えいたします。

まず1点目の「これからの図書館サービスのあり方とは」についてであります。図書館は、図書館法の規定によります「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づきまして、これまでから、本の貸出やレファレンスサービスならびに利用者の自主的・自発的な学習活動を支援するための多様な学習機会の提供などの図書館サービスを行っております。今後におきましても、より多くの方が利用していただけるよう多様な資料を整備し、市民の方のニーズを考えました学習支援や、図書を活用した生涯学習の推進に取り組むことが重要であると考えております。

次に、2点目の「図書館の高いレベルの利用者を維持していくための取り組みについて」であります。市といたしましては、今後も幼少期から本とふれあう機会である「ブックスタート事業」の継続や、学校との連携を図りながら読書に親しむ機会をつくるとともに、おはなし会や各種講座、市民の読書意欲や関心を高める取り組みを進めることで高い水準を保ってまいりたいと考えております。

次に、3点目の「図書館司書資格を持つ職員の割合や推移について」であります。21人の図書館職員のうち、図書館司書の保有者が15人おり、保有割合は71%となっております。10年前の平成23年度の保有割合は、59%でありましたことから、図書館司書の資格保有割合は増加しているところであります。

次に、4点目の「図書館のホームページのより良い改善計画等はあるのか」につ

いてであります。図書館のホームページは、図書館システムの機能を使いながら作成しております。昨年度の図書館システムの更新によりまして、ホームページでは検索機能が向上し、また、検索した本の表紙が画像で確認できるようになり、さらには、図書館利用カードを利用者のスマホなどで表示することが可能となりましたことから、カードを持たなくても、本を借りていただくことができるようになっているところであります。

今後におきましても、利用者の方の利便性が向上するよう努めてまいりたいと考えております。

次に、5点目の「電子書籍と紙の本のそれぞれに強みを活かす考えについて」であります。現在、図書館の本は、ほとんどが紙の本でありまして、令和2年度の国の調査では、9.8%の自治体が公立図書館で電子書籍を貸し出ししています。課題としまして、貸し出ししている自治体の67.8%が、適当な電子書籍がない、少ないと回答をしていることが挙げられます。議員仰せのとおり、電子書籍、紙の本にはそれぞれの良さ、強みがありますので、電子書籍のコンテンツの充実状況を見ながら、2つのバランスをどのようにしていくかの研究を重ねてまいりたいと考えております。

次に、6点目の「図書館協議会の意見の反映等はどのように行われているのか」についてであります。図書館協議会は、年に3回開催いたしまして、会議では、本の配置に関することや、利用者の拡大に関することなどのご意見をいただいております。日々の運営に活かしているところでもあります。一例を申し上げますと、「読んだ本を記録する読書手帳のようなものはできないか」とのご意見をいただきましたことから、昨年度、読書手帳「読書のキセキ」を作成しております。この読書手帳は、借りた資料のタイトルや評価などを記録できる手帳であり、既に4千人の方にお配りし、ご利用をいただいているところでもあります。

次に、7点目の「市民からも幅広く意見を取り入れる、図書館づくりについて」であります。図書館では、利用者の方からカウンター等で直接意見をお聞きする機会が多くありますし、各図書館には意見箱を設置しているほか、メールでのご意見をいただき、図書館運営に反映するよう努めております。もとより市民の代表の方に委員となっただけでいる図書館協議会を年に3回開催するなど、より良い図書館運営に向けて、取り組んでいるところでもあります。

次に、8点目の「学校の図書室との連携について」であります。学校の図書室の利用促進を図ることを目的に、社会教育課が学校図書館リニューアル事業を実施しておりますことから、図書館司書が専門的な知識や経験を生かし、アドバイスを行うなどの連携を図っております。また、学校の図書室の蔵書で資料が不十分な場合には、図書館から学校へ出向きまして、児童生徒に訪問貸出を行うなど学校の図書室との連携を図っているところでもあります。

次に、9点目の「これからの公民館のあり方について」であります。教育大綱では、「公民館、図書館などの社会教育施設を拠点に、市の関係部局や社会教育関係

団体と連携しながら、市民の学ぶ機会の提供と地域課題の解決に向けた取り組みを促進します。」としております。現在、仮称たかしま市民大学の開校準備とともに、公民館の講座や教室の運営体制全体の再構築に取り組み、生涯学習・社会教育の拠点としての役割をさらに高めてまいりたいと考えております。

次に、10点目の「幅広い世代の利用を高めていくための考えについて」であります。より多くの方に公民館を利用していただけるよう、本年度新規に8教室を企画しましたところ、6教室で40歳代以下の受講者があり、手話教室では大人に混じって小中学生が学ぶ姿も見られております。働いておられる世代の利用者の大幅な増加は難しい面はありますが、幅広い世代の利用者の増加につながる公民館教室の内容検討を含めまして、公民館運営審議会のご意見もいただきながら研究をしてまいりたいと考えております。

次に、11点目の「Wi-Fi整備による活用について」と12点目の「ICT技術を取り入れた学びの場の提供の現状と今後について」であります。

Wi-Fi環境の整備につきましては、これまでから災害や観光用に整備されている公民館はありますが、現時点では学習用に整備されている公民館は県内にはなく、全国的にも学習用に整備している公民館は少ない状況にあります。

市におきましては、社会教育分野においてICTの活用を図る観点から、公民館の一部の部屋にWi-Fi環境の整備を行い、新しい技術を活用した学びの推進に向けて、本定例会に補正予算の提案をさせていただいているところでございます。整備が進みますと、利用者が、オンライン会議ができるなどの利便性が向上するだけでなく、Wi-Fi環境を活用したインターネット接続による講習が可能となります。また、離れた場所の講師によるオンライン教室、他地域とのオンライン会議による交流活動など、学習環境の充実、学習機会の拡大につながるものと考えております。

最後に、13点目の「高島市民大学（仮）は具体的にどのようなことをしていくのか」についてであります。仮称たかしま市民大学につきましては、「たかしま市民大学準備委員会」を設置いたしまして、学習者の主体性が発揮される講座やプログラムなどを検討し、目の前の事象から解決すべき課題を見出し、課題解決に向けて主体的に行動するひとづくりにつながるような内容にしていきたいと考えております。現在、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、委員の選考を行い、先進事例の調査を計画するなど、取り組みを進めているところであります。

以上、私からの答弁といたします。

(再質問)

図書館に関わる各種ボランティアの継続的な確保については。

教育総務部長答弁

(答) お答えいたします。

図書館サービスの向上を図るうえで、ボランティアの方のご協力は重要なことであると考えております。現在、おはなし会などを運営していただいている団体や、ブックスタートのサポーターなど、様々な形でご協力をいただいております。

こうした活動に継続的なご協力をいただくには、より多くの方に活動を理解していただく必要がありますことから、新型コロナウイルス感染症の終息後には、サポーターの養成講座の開催などに取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

(再質問)

幅広い広報という意味でSNSの活用など他の方法も考えられると思うが図書館について活用は。

教育総務部長答弁

(答) お答えいたします。

図書館では、メールマガジンにより、新着リストや、催し物の案内などを週2回配信しております。

また、メールで予約本の連絡や、貸出期限の前日に期限をお知らせする取り組みも行っております。今後におきましても、利用者の方の利便性の向上に努めてまいりたいと考えています。

以上でございます。

(再質問)

図書館協議会の委員に学識経験者はいるのか。また記録は公開、あるいは会議は公開されているか。

教育総務部長答弁

(答) お答えいたします。

図書館協議会の学識経験者の委員には、県立図書館の館長を経験された方を委嘱しております。この方は、大学で司書課程を教えられているなど図書館運営に見識の高い方でございます。

また、図書館協議会の会議録は、会議の内容まではホームページで公開はしておりませんが、会議は、公開を原則に開催しております。

以上でございます。

(再質問)

学校司書および司書教諭について高島市の現状は。

教育総務部長答弁

(答) お答えいたします。

学校司書および司書教諭の現状につきましては、学校司書は、学校図書館法に置くように努めなければならないとの規定はありますが、現時点では配置にまで至っておりません。

一方で、司書教諭は、学校図書館法に12学級以上の学校には置かなければならないとの規定がありますことから、対象となります5校に配置しております。

また、図書館から学校へ人材の派遣などを行うことにつきましては、先にお答えいたしましたとおり、学校図書館リニューアル事業への協力、学校図書室と連携した訪問貸出などに取り組んでおりますことから、こうした取り組みを継続してまいりたいと考えております。

以上でございます。

(再質問)

ビジネス図書館という仕組みも大事なことと考えるがどのように考えているか。

教育総務部長答弁

(答) お答えいたします。

ビジネス図書館につきましては、現時点では、先程議員が仰っていただいたような、司書がそれに関連するようなサービスを提供させていただいています。今後におきましては、確かにこういう様な、それに特化した様な形になれば良いんですけども、現状では今のサービスを続けていきたいと考えております。

以上でございます。

(再質問)

ホームページから施設の利用予約なども利便性を高めるために必要と考えるが、こうした仕組みを導入する考えは。

教育総務部長答弁

(答) お答えいたします。

公民館の施設予約は、利用の7日前までに使用許可申請書を提出していただきまして、各公民館で予約台帳により貸館状況を管理しております。現在、国の「自治体DX、デジタルトランスフォーメーション推進計画」をうけまして、行政手続き

などのデジタル化の検討を進めておりますことから、公民館の利用予約のオンライン化についても検討してまいりたいと考えております。
以上でございます。

(再質問)

高島市民大学で地域学といった内容を取り上げ、それを学生など若い人を主な対象として行っていくような考えはあるか。

教育総務部長答弁

(答) お答えいたします。

仮称たかしま市民大学につきましては、「目の前の事象から解決すべき課題を見出し、課題解決に向けて主体的に行動するひとづくりにつながる」ような学びの場を目指しておりますことから、若い人たちを含め、幅広い世代の方に受講していただきたいと考えております。

具体的な内容につきましては、これから「たかしま市民大学準備委員会」で検討していただくこととなりますが、議員ご提案の地域学などにつきましても検討される内容になっていくのではと考えております。

以上でございます。

【担当：教育総務部 社会教育課・図書館】

蔵書点検実施結果

(令和3年度)

令和3年10月30日現在

館名	実施日	蔵書冊数 (冊、点)	不明本 (冊、点)	不明資料の傾向	対策
今津図書館	10/12(火) ~10/13 (水)	191,346	3点 一般2 DVDI		・昨年度の蔵書点検以来、不審な動きをする利用者に対してマンツーマンで見張るようにしたため、今年は1/3まで減った。なお一層、巡回に力を入れる。
マキノ図書館	10/16(土)	79,529	0点		・既に返却されているが、不明資料2点とも貸出漏れであったので、貸出時は確実に資料を読み込む、画面の貸出冊数と実際の貸出冊数を確認する、といった対策で貸出漏れに気を付ける必要がある。 ・小さな子どもが貸出を通さず持って帰ってしまった可能性もあるので、返本や整理も兼ねて、定期的に巡回を実施するようにする。
朽木図書サロン	10/16(土)	62,432	2点 雑誌1 DVDI	・雑誌は、前年度に利用者さんの紛失として不明処理された資料。弁償済み。 ・DVDは貸出もれの可能性あり。	視聴覚資料は、書架にあるケースと貸出用のケースと交換して貸出するため、貸出処理をせずに利用者さんに渡してしまうことがあるため、貸出はしっかりと行う。
安曇川図書館	10/14(木) ~10/15 (金)	199,463	14点 一般14	・小説(文庫)が7点、新書が3点。料理の本も4点あり。 貸出漏れの可能性もあり。	・貸出時には貸出した冊数とパソコンの入力冊数をチェックする。また、延長の際は返却本が混ざらないようにする。 ・返本時に書架整理も一緒に行う。 ・内容が古い本などを書庫入れにして、書架にスペースを作って本を返しやすくする。
高島図書室	10/16(土)	56,273	0点		・貸出時にパソコンの貸出画面の冊数が間違いないか確認して、貸出漏れを防ぐ。読み込みだけでなく、カウンター上の図書がすべて貸出を終えたものかどうか確認する。 ・返本の際に、合わせて書架整理をおこなうよう心掛ける。
新旭図書室	10/16(土)	40,801	2点 一般2	旅行ガイドと愛唱歌の本。貸出漏れの可能性もあり。	・貸出時に貸出漏れのないように、冊数確認をし処理を行う。 ・定期的な書架整理をし、室内巡回を行う。
計		629,844	21点		

【令和3年度高島市立図書館蔵書点検作業ご参加について】

図書館について市民の方々にもっと知っていただく企画を、今後実施していくにあたり、今年度は、プレ企画として蔵書点検作業を委員の皆様にご参加いただきました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

○10/12（火） 今津図書館 1名 ○10/14（木） 安曇川図書館 1名
○10/16（土） 朽木図書サロン、新旭図書室、高島図書室 各1名

ご参加いただいた皆様には、作業後アンケートにお答えいただきました。（以下抜粋）

①集合時間について：適当である（全員）

*今津・安曇川は、午後の作業開始時間（13時すぎ）からの集合。

朽木・高島・新旭は、午前9時。

②POTの操作説明について：わかった（全員）

*POT→携帯端末機で、裏面から出る赤外線で本のバーコードを1つずつ読み取っていき、終了後は本体（図書館システム）に蓄積したデータを落す。

③作業内容の説明について：わかった（全員）

④参加しての感想（抜粋）

○たくさんの本一冊一冊に作家さんの人生なり、思い等が詰まっていたほんとうに図書館は宝の山だなあと痛感しました。

○図書館業務の大変な部分を体験させていただきました。

○なれない作業で疲れました。文庫本の棚のタボが残っているところがあり、取り除くといいでしょ。

○左手中指の関節が痛い。肩より上の段は、腕が疲れました。点検もれが発生する理由がわかりました。

○職員さんが和気あいあいと休憩されている様子が印象的でした。このチームワークの良さが図書館サービスにつながっていると思います。

○POTの音で無心になれますね。読んでいない本、初めて見る本の多さにびっくり！

○図書館の事務室内の仕事の一旦を知ってもらう良い企画だと思います。



来館者数(延べ)

									(人)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
今津	R3年度	3,663	3,740	3,456	4,071	4,586	3,238	22,754	
	R2年度	2,382	1,675	3,301	4,568	5,075	4,332	21,333	
	前年比	153.7	223.2	104.6	89.1	90.3	74.7	106.6	
マキノ	R3年度	482	521	539	629	735	570	3,476	
	R2年度	492	315	508	620	669	532	3,136	
	前年比	97.9	165.3	106.1	101.4	109.8	107.1	110.8	
朽木	R3年度	323	389	302	423	424	289	2,150	
	R2年度	277	147	235	386	407	396	1,848	
	前年比	116.6	264.6	128.5	109.5	104.1	72.9	116.3	
安曇川	R3年度	3,050	3,140	3,080	3,741	3,655	2,905	19,571	
	R2年度	2,842	1,420	2,643	0	0	0	6,905	
	前年比	107.3	221.1	116.5	374.1	365.5	290.5	283.4	
高島	R3年度	447	548	449	730	675	447	3,296	
	R2年度	401	286	362	1,213	1,320	843	4,425	
	前年比	111.4	191.6	124	60.1	51.1	53	74.4	
新旭	R3年度	790	852	816	1,165	1,243	914	5,780	
	R2年度	659	392	689	1,353	1,615	1,267	5,975	
	前年比	119.8	217.3	118.4	86.1	76.9	72.1	96.7	
総合計	R3年度	8,755	9,190	8,642	10,759	11,318	8,363	57,027	
	R2年度	7,053	4,235	7,738	8,140	9,086	7,370	43,622	
	前年比	124.1	217	111.6	132.1	124.5	113.4	130.7	

令和3年度 利用統計(団体含)

貸出冊数(冊)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
今津	R3年度	14,754	16,081	13,854	15,910	17,036	12,975	90,610
	R2年度	13,261	7,726	14,141	18,959	20,659	18,371	93,117
	前年比	111.2	208.1	97.9	83.9	82.4	70.6	97.3
マキノ	R3年度	2,611	2,799	3,365	4,453	3,489	2,558	19,275
	R2年度	2,548	1,614	3,719	4,960	3,487	2,872	19,200
	前年比	102.4	173.4	90.4	89.7	100.0	89.0	100.3
朽木	R3年度	2,560	2,778	2,322	2,181	2,257	2,048	14,146
	R2年度	1,708	1,339	2,014	2,590	2,872	2,702	13,225
	前年比	149.8	207.4	115.2	84.2	78.5	75.7	106.9
安曇川	R3年度	15,361	17,339	17,045	18,196	17,745	16,303	101,989
	R2年度	18,149	9,213	16,552	744	0	48	44,706
	前年比	84.6	188.2	102.9				228.1
高島	R3年度	1,983	2,565	2,268	2,573	2,583	1,758	13,730
	R2年度	2,040	1,391	1,862	5,840	6,358	5,515	23,006
	前年比	97.2	184.3	121.8	44.0	40.6	31.8	59.6
新旭	R3年度	2,901	3,299	2,978	4,004	4,175	3,638	20,995
	R2年度	2,965	1,588	2,448	5,231	6,138	4,898	23,268
	前年比	97.8	207.7	121.6	76.5	68.0	74.2	90.2
総合計	R3年度	40,170	44,861	41,832	47,317	47,285	39,280	260,745
	R2年度	40,671	22,871	40,736	38,324	39,514	34,406	216,522
	前年比	98.7	196.1	102.6	123.4	119.6	114.1	120.4

貸出延人数(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
今津	R3年度	3,311	3,465	3,223	3,513	3,798	2,941	20,251
	R2年度	2,775	1,768	3,419	4,221	4,364	3,975	20,522
	前年比	119.3	195.9	94.2	83.2	87.0	73.9	98.6
マキノ	R3年度	487	511	563	686	617	498	3,362
	R2年度	494	327	599	863	697	597	3,577
	前年比	98.5	156.2	93.9	79.4	88.5	83.4	93.9
朽木	R3年度	342	459	376	403	448	350	2,378
	R2年度	327	208	356	463	454	453	2,261
	前年比	104.5	220.6	105.6	87.0	98.6	77.2	105.1
安曇川	R3年度	2,768	3,061	3,102	3,294	3,162	2,845	18,232
	R2年度	2,875	1,561	2,962	65	0	13	7,476
	前年比	96.2	196.0	104.7				243.8
高島	R3年度	432	510	442	523	544	406	2,857
	R2年度	410	279	418	1,165	1,313	1,169	4,754
	前年比	105.3	182.7	105.7	44.8	41.4	32.4	60.0
新旭	R3年度	641	703	664	799	851	742	4,400
	R2年度	637	335	589	1,228	1,378	1,132	5,299
	前年比	100.6	209.8	112.7	65.0	61.7	65.5	83.0
総合計	R3年度	7,981	8,709	8,370	9,218	9,420	7,782	51,480
	R2年度	7,518	4,478	8,343	8,005	8,206	7,339	43,889
	前年比	106.1	194.4	100.3	115.1	114.7	105.6	117.2

令和3年度 利用統計(団体含)

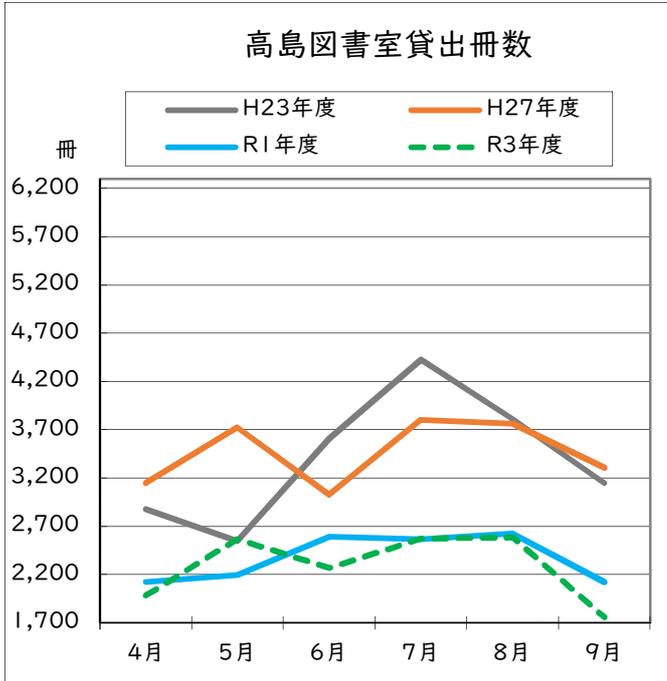
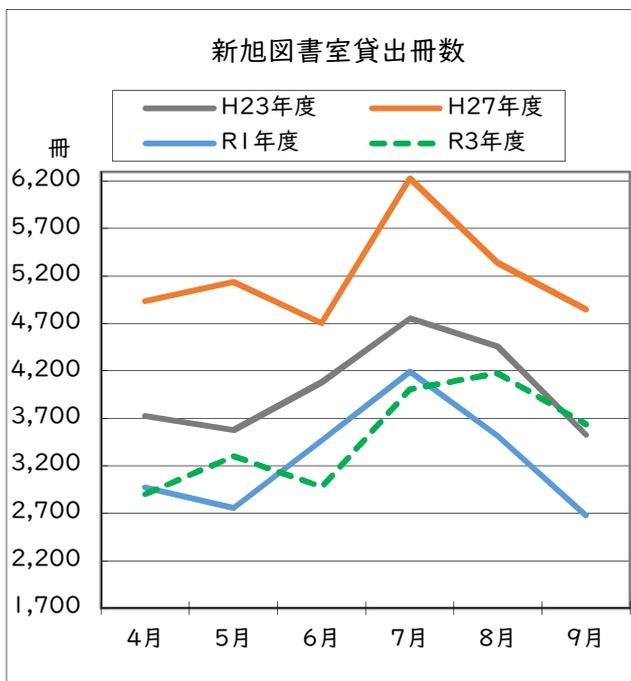
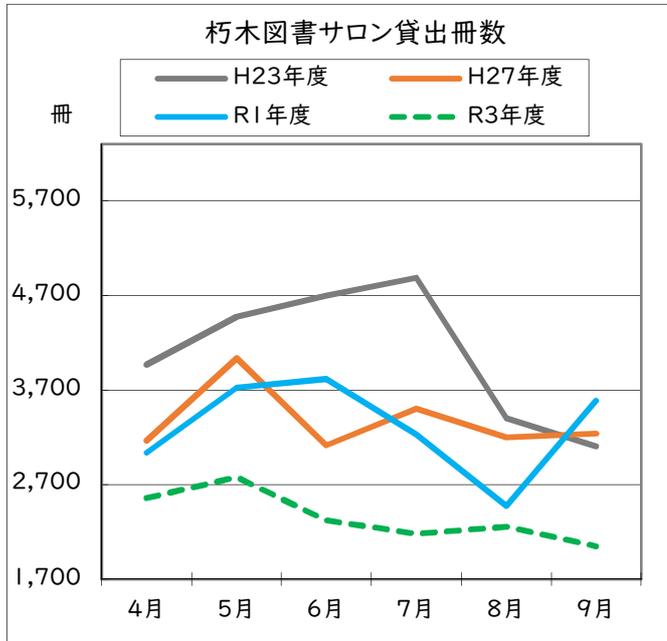
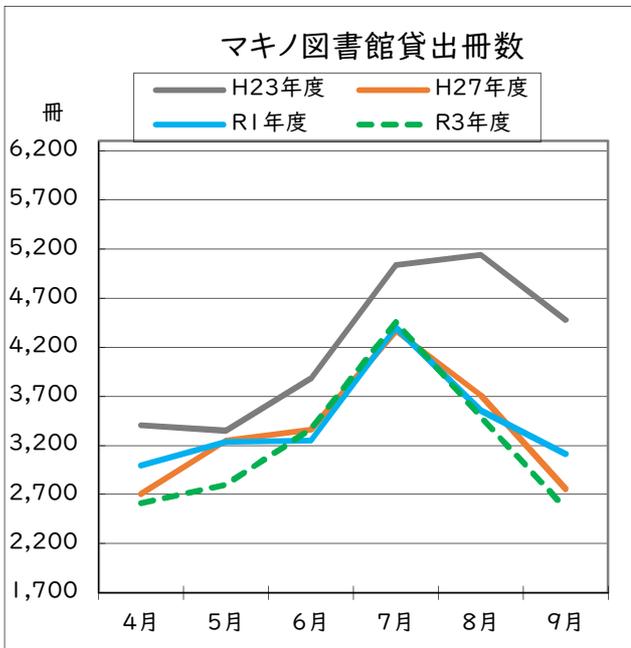
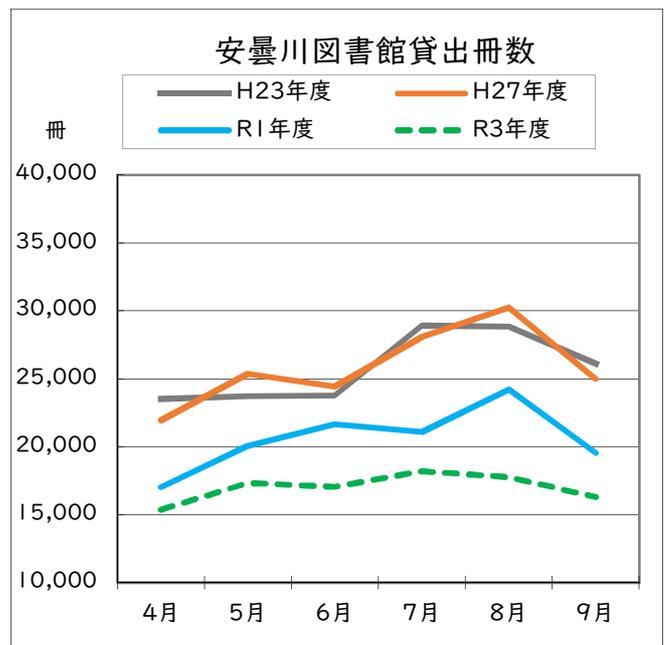
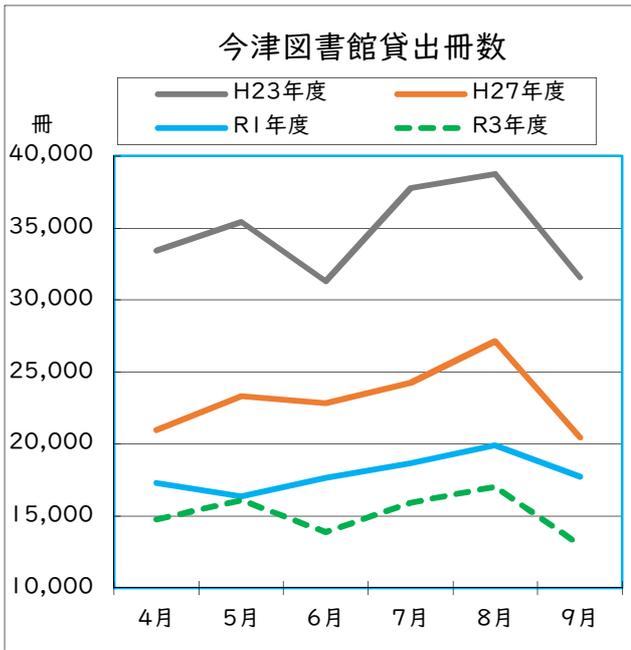
予約件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
今津	R3年度	760	859	799	885	772	623	4,698
	R2年度	464	430	790	923	988	749	4,344
	前年比	163.7	199.7	101.1	95.8	78.1	83.1	108.1
マキノ	R3年度	147	170	174	155	114	192	952
	R2年度	168	98	153	231	193	153	996
	前年比	87.5	173.4	113.7	67.0	59.0	125.4	95.5
朽木	R3年度	196	192	167	161	180	179	1,075
	R2年度	135	160	185	252	130	173	1,035
	前年比	145.1	120.0	90.2	63.8	138.4	103.4	103.8
安曇川	R3年度	450	557	629	522	535	634	3,327
	R2年度	446	499	573	16	5	19	1,558
	前年比	100.8	111.6	109.7				213.5
高島	R3年度	198	208	203	195	172	186	1,162
	R2年度	87	73	146	357	260	348	1,271
	前年比	227.5	284.9	139.0	54.6	66.1	53.4	91.4
新旭	R3年度	105	166	139	174	148	283	1,015
	R2年度	114	35	98	220	195	205	867
	前年比	92.1	474.2	141.8	79.0	75.8	138.0	117.0
Web	R3年度	1,848	2,206	1,971	2,055	2,032	2,130	12,242
	R2年度	1,683	1,411	1,774	1,741	1,898	1,724	10,231
	前年比	109.8	156.3	111.1	118.0	107.0	123.5	119.6
総合計	R3年度	3,704	4,358	4,082	4,147	3,953	4,227	24,471
	R2年度	3,097	2,706	3,719	3,740	3,669	3,371	20,302
	前年比	119.5	161.0	109.7	110.8	107.7	125.3	120.5

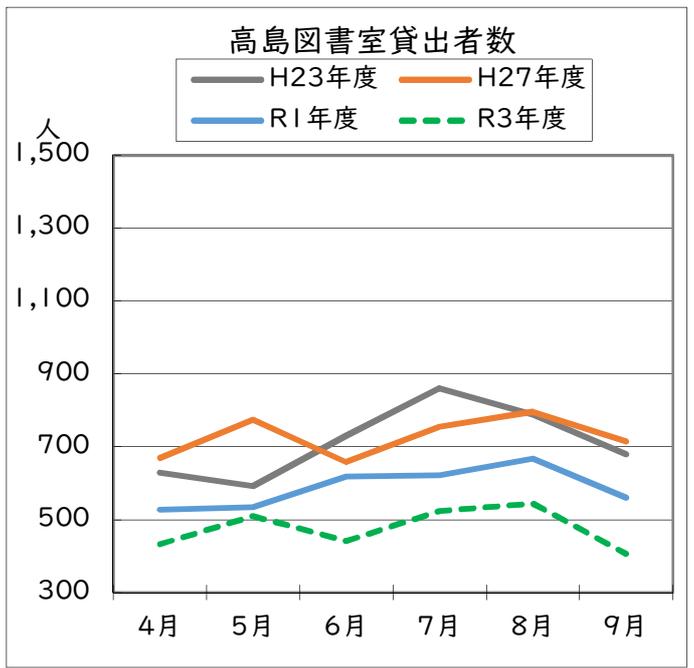
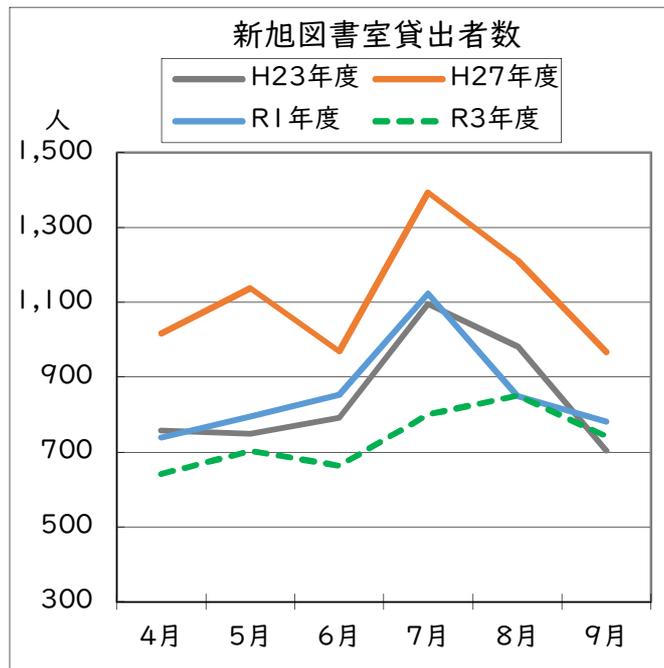
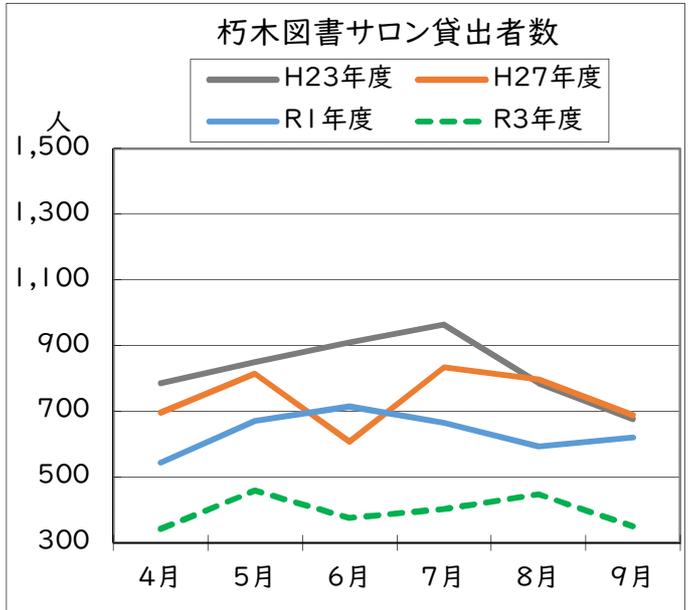
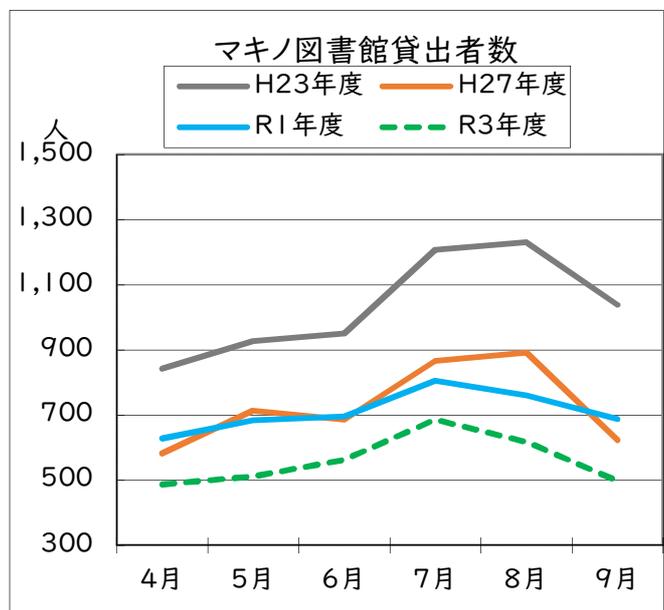
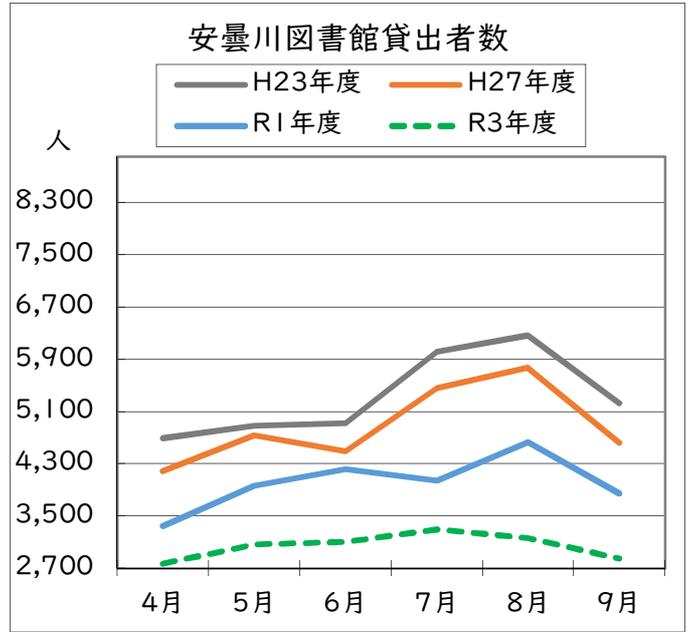
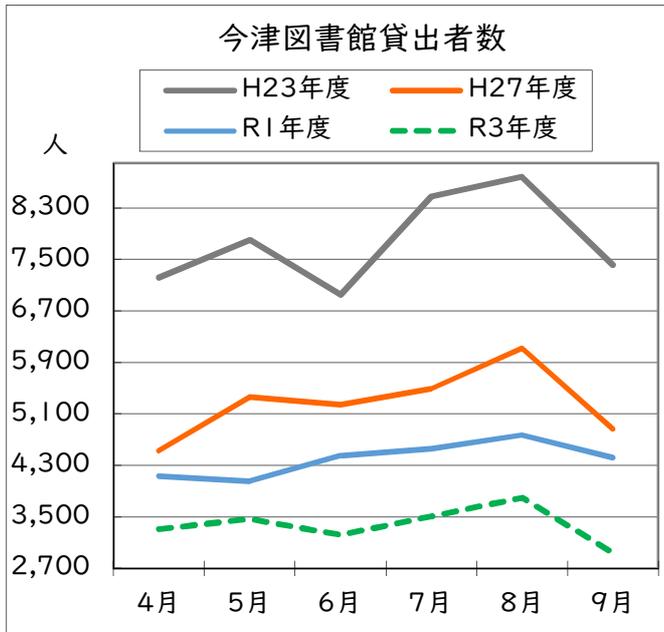
増減の理由(貸出冊数、貸出人数、予約件数、来館者数)

		4.5月	6月	7月	8月	9月	
今津	冊数	昨年度の臨時閉館の影響。	昨年度も4, 5月閉館の余波で6月もなかなか利用者が戻ってこず、人数が少なかったことで若干今年度は増えたように見える。	昨年度の安曇川図書館の空調工事の際、利用者が今津図書館にも流れていた関係で、今年度は若干減になっている。また、8月後半から9月にかけて緊急事態宣言が滋賀県に出されていたため、訪問貸出が中止になり貸出冊数も減になっている。またこの期間中、図書館は閉館していると勘違いされていた利用者が多かった。			
	人数						
	予約						
	来館者						
マキノ	冊数	昨年度の臨時閉館の影響。	昨年度は2回実施したマキノ東小学校への訪問貸出が、今年度はなかったことから、減少したのではないかと。	昨年度は計5回実施した各小学校への訪問貸出が、今年度は3回に減少した影響ではないか	図書館への来館が難しい分、通常より多く借りた利用者が多かったからではないか。	緊急事態宣言発令中図書館が閉館していると勘違いされた利用者が多かったため。	
	人数				コロナウイルス感染拡大の影響で減少したのではないかと		
	予約						
	来館者			隣のマキノ公民館でワクチンの集団接種があり、待ち時間に図書館に来られる方が多かったため、6月より7月の来館者は増加したのではないかと。	昨年度の来館者数が通常よりも少なかったからではないか。		隣のマキノ公民館でワクチンの集団接種があり、待ち時間に図書館に来られる方が多かったため、来館者は増加したのではないかと。
朽木	冊数	コロナ禍での生活が当たり前のようになり、滞在時間の制限がある中、コロナ前の数字までとは言えないが、戻りつつあるのかもしれないと思った。今年度は臨時休館をしていない分、数字が伸びたのでは。	第5波の真っ只中にもかかわらず、来館者数は前年度より増加したもののすべてが貸し出しに繋がらなかった。前年度の夏休みは短く、8月に小学校の配本があったが、今年は通常の夏休みだったため配本は行っていない。その分減少している。			非常事態宣言が発令し、公民館が臨時休館となったため、図書サロンも休んでいると勘違いされた利用者が多かったため。	
	人数		感染者が急に増え始めた時期なのか、返却だけの利用者が目立った。				
	予約		できるだけ滞在時間を短くするため、予約して、予約本だけを借りていく利用者が増えた。				
	来館者		小学生向けの公民館教室が実施され、それに参加する子ども達や保護者などが多く来館。				
安曇川	冊数	開館日数が昨年度より増えたため。	昨年度は冷暖房機器更新工事のため臨時休館(7/1~9/30)したため				
	人数	5月から訪問貸出・本の森開始					
	予約	R2年度に比べて月あたり約50冊増→外出自粛の経験から予約を活用する利用者が増えた					
	来館者						
高島	冊数	R2年度が緊急事態宣言により休館していたため、R3年度は比べて増加したと考えられる	R2年度は安曇川図書館が設備工事により臨時休館していたため、利用が増加。そのため、通常の利用より遥かに増加。R3年度は通常の利用数に戻ったため、前年と比べると落ち込んだ数字になっていると考えられる			R3年度は緊急事態宣言により公民館が休館となったため、図書室も休館したと勘違いされた利用者が多かったため。	
	人数						
	予約						
	来館者						
新旭	冊数	前年は緊急事態宣言の臨時休館があり、R3年度は増加となった。	R2年度は安曇川図書館臨時休館の影響で利用が増加していた。また、新旭の小学校の改修工事で公民館利用していて、図書室への利用もあった。			R2年度の増加は安曇川図書館臨時休館の影響。また、R3年度は緊急事態宣言中は公民館休館となり、図書室利用にも影響したと考えられる。	
	人数						
	予約						
	来館者						
全体として		R2年度, 緊急事態宣言により、臨時休館(4/20~5/16)	緊急事態宣言発令(8/27~9/30)				

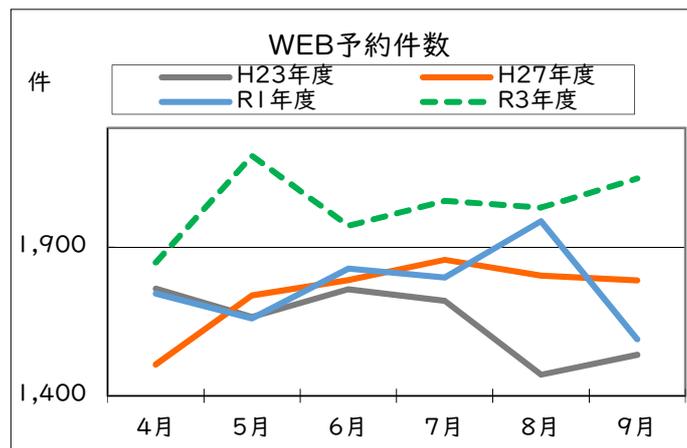
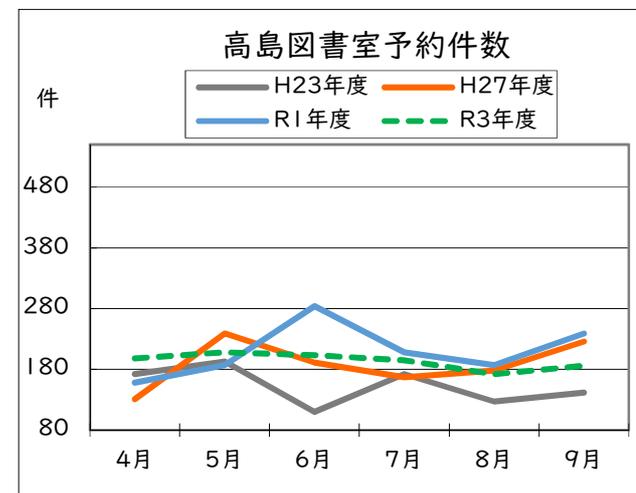
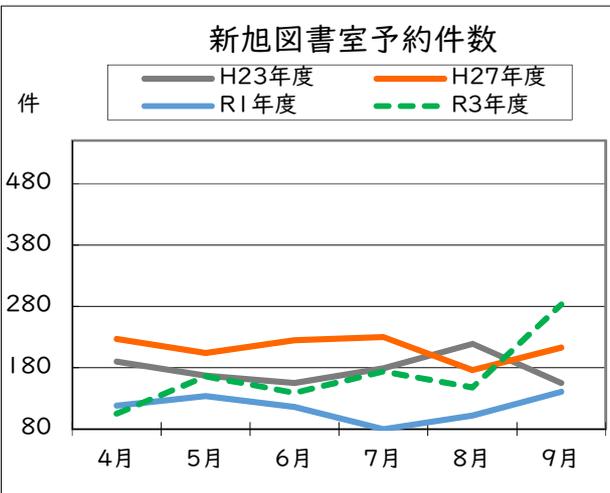
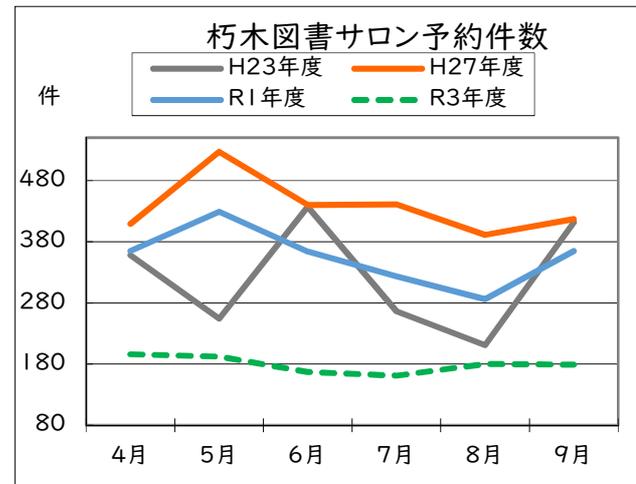
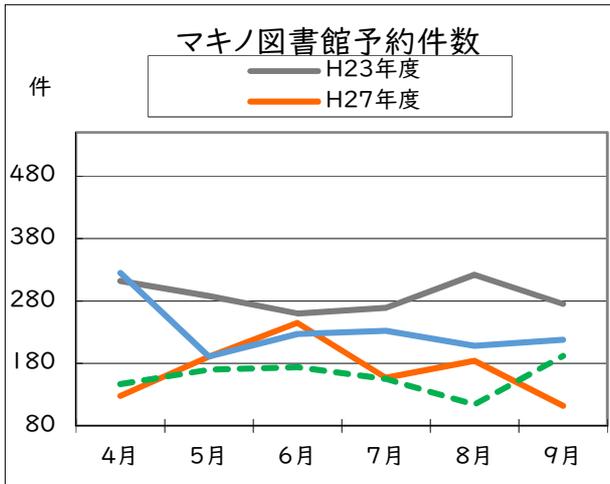
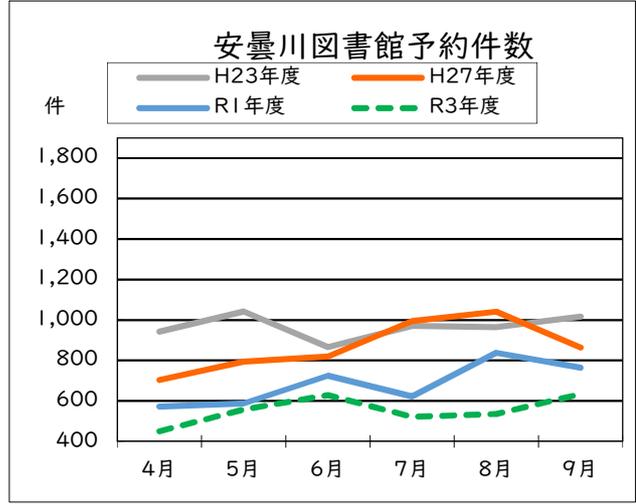
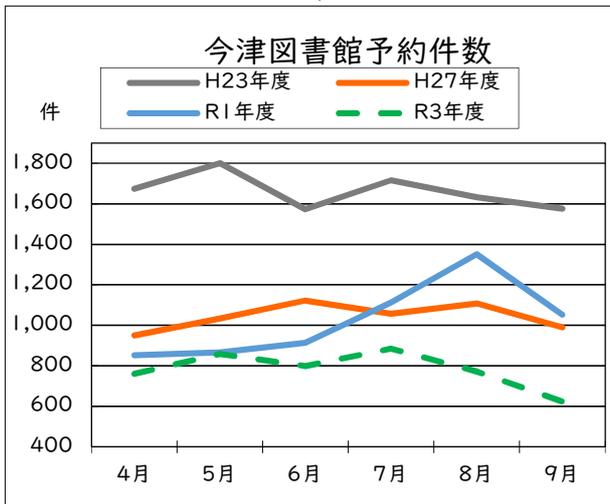
貸出冊数比較(H23年度、H27年度、R1年度、R3年度) 4月～9月



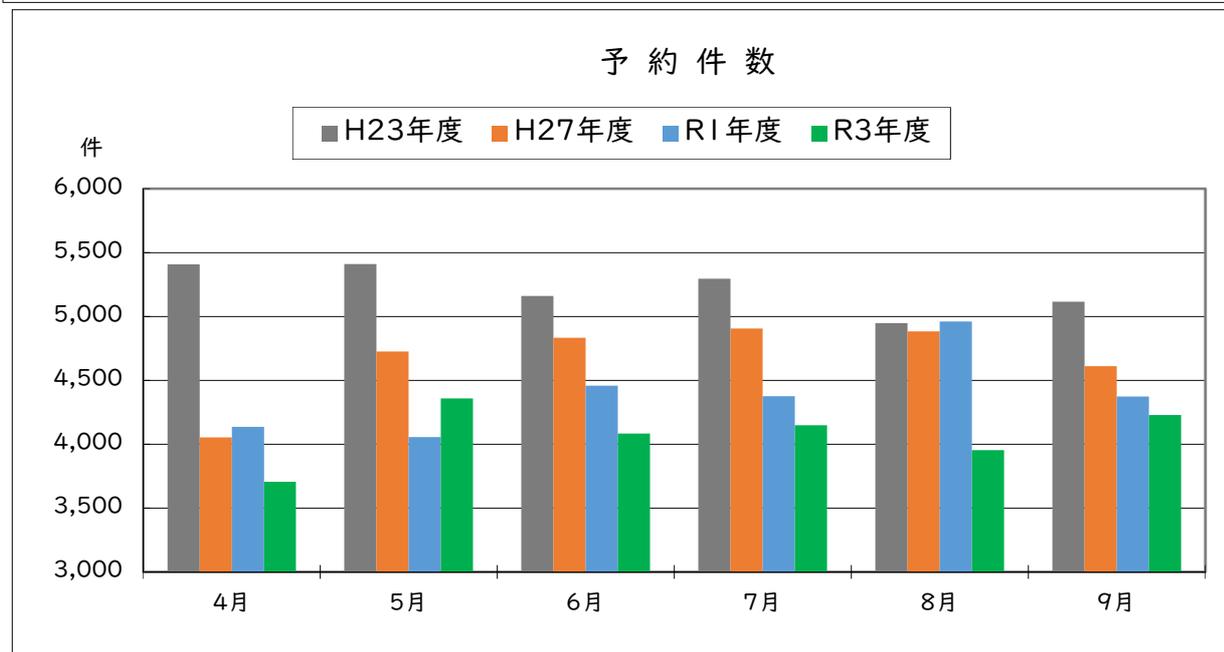
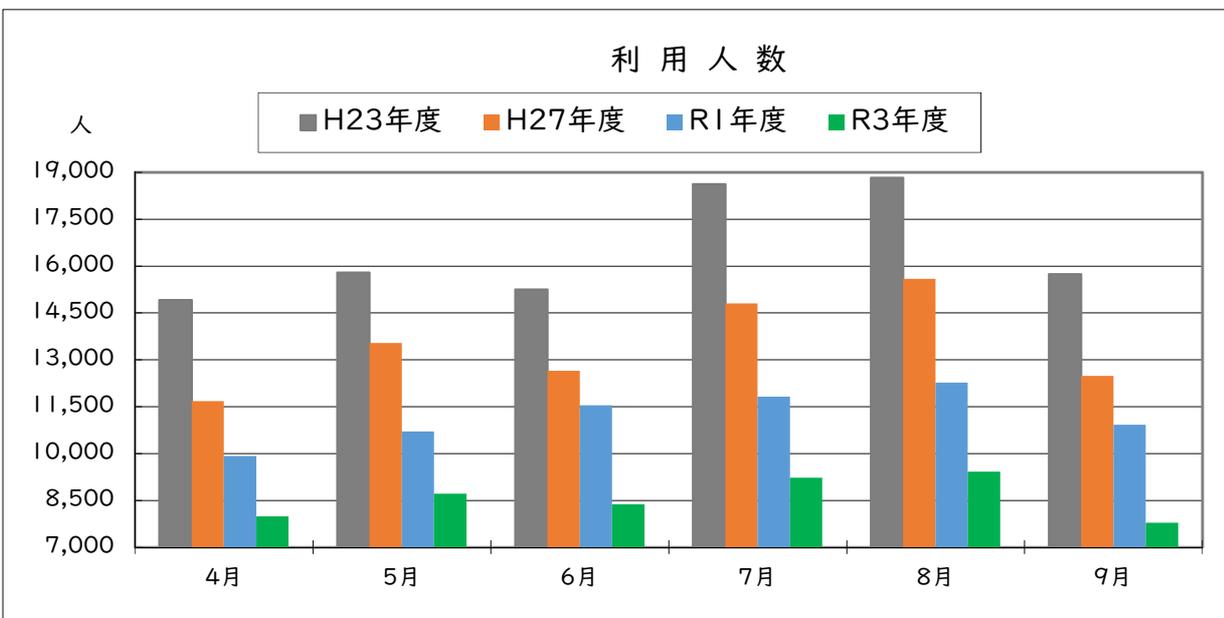
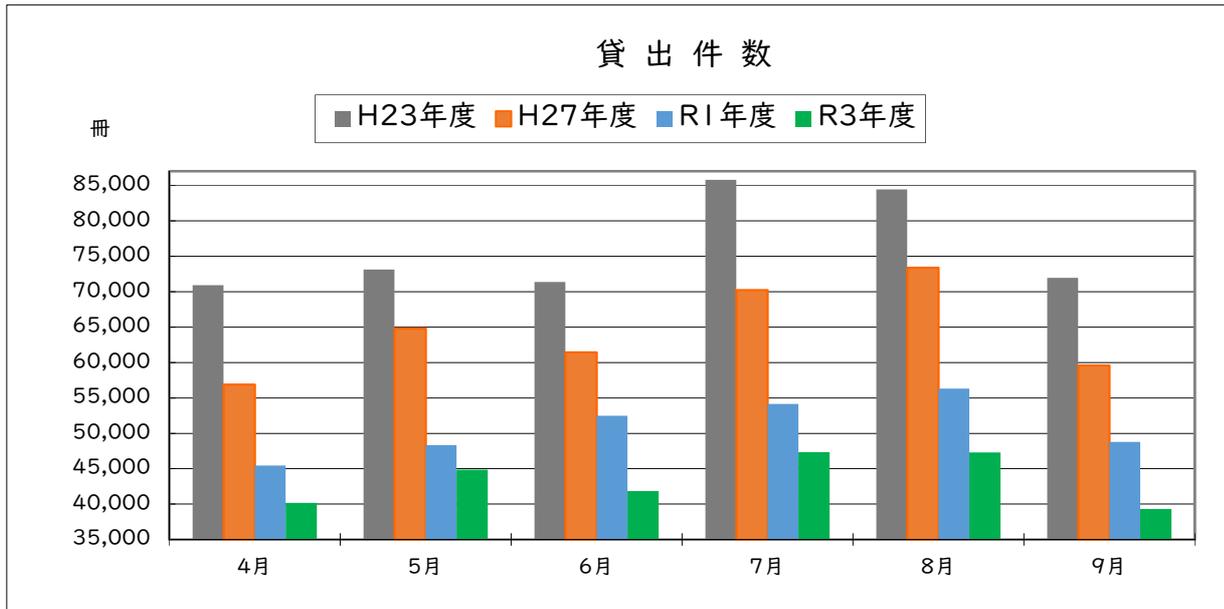
貸出者数比較(H23年度、H27年度、R1年度、R3年度) 4月~9月



予約件数比較(H23年度、H27年度、R1年度、R3年度) 4月~9月



全館合計比較(H23年度、H27年度、R1年度、R3年度) 4月~9月



年度別貸出統計

